

「志高く奉仕の心」

会長 柳 清二



THE WEEKLY REPORT

2012~2013

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2786回 例会

プログラム

定時総会

No. 2622 9月6日(木)

次週以降の予定

9月13日(木) ガバナー公式訪問

9月20日(木) 青少年職場体験支援&卓話

9月27日(木) 滝川・砂川合同例会(夜間例会)

第2785回 例会報告

2012年 8月30日(木)

会長挨拶



8月23日(木)の例会でCLP検討委員会の神部洋史委員長より、CLP仕様による滝川RC細則の件につき卓話を頂きました。先週のクラブ例会終了後、臨時理事会を開催、理事の皆様にも新細則についてご審議を頂き、承認を得ることが出来ました。早速8月24日に各会員に新細則を発送致しましたが、添付書に"このことにより、CLP仕様による機構図及び細則は成案となり、中垣会長年度から新機構図・細則によるCLP体制での出発となります"とありますのは誤りであり、本日配布した訂正文と致しましたので御理解、御了承下さいませお願い申し上げます。

細則第14条改正に則り、本細則は定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成によって改正する事が出来る、ただしかかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に通知されていなければならないとありますので、先般の添付文書の誤りを訂正させて頂き、かかる改正案の予告といたしまして、9月第3例会を含めた以後の例会に、新細則の賛同の可否を審議致します事を各会員に通知させて頂きます。なお、クラブ会員の皆様に新細則をすでにお目通し頂いたものと思います。そこで会員の皆様に新細則について理解をより深く頂くために、次週9月6日(木)の定時総会の折に、プログラムの後半の余事の時間を頂いて、神部委員長からこれまでの細則と新細則のどこが大きく変わったのかを解説して頂きますので、会員の皆様には、必ず活動計画書を持参下さいませようお願い申し上げます。

≪指名委員会開催の件≫

細則第1条第1節に則り、指名委員会に対し、次年度会長エレクトの指名につき、指名委員会の開催を要請します。本日午後6時~当ホテルスエヒロ3Fフレスコにおいて指名委員会を開催し、その結果はその後の理事会(9/6 定時総会前に臨時理事会開催)での承認を経てから9月6日の定時総会において出席した会員の過半数の賛成で承認を受けることとなります。

幹事報告



①来週9月6日に、第9回定例理事会を開催致します。11月担当事業をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を明日までをお願い致します。

②ロータリーカード入会のご案内を致します。詳細は受付の掲示板にパンフレットを貼っております。希望される方は、事務局へお申し込み下さい。

③秋の交通安全街頭啓蒙の協力依頼がまいりました。同じく掲示板に日程・時間等を貼っておりますので、ご確認の上、是非ご参加をお願い致します。

④9/13(木)はガバナー公式訪問例会です。(12時30分~丹頂の間)多くの皆様のご出席を頂きますようお願い致します。当日は10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会(白鶴の間)を開催致します。クラブ協議会には、役員・理事・委員長の皆さんは必ず出席いただきたいと思っております。又、入会3年未満の会員の皆さんは義務出席となっておりますので、予定に入れておいて頂きたいと思っております。会員メンバーの皆さんもオブザーバーとしてご出席いただきますようお願い申し上げます。(メイクアップとなります)なお、前日(9/12)午後6時30分から、ガバナー歓迎懇親会をボンビヴァンで開催致します。多くの方のご出席をよろしくお願い致します。

ゲスト・ビジター紹介

- ・工藤 憲 様
(日本小学生バレーボール連盟理事長)
- ・中 文雄 様
(そらぶちキッズキャンプ理事)
- ・佐々木健一郎 様
(そらぶちキッズキャンプ事務局長代理)



そらぶちキッズキャンプ ツリーハウス完成記念 暖房器具一式および幸せの鐘 設置費用支援の目録贈呈式



社会奉仕委員会担当例会

ゲスト卓話



戎谷 侑男 社会奉仕委員長

今日は工藤 憲(くどう のりお)先生に来て頂きました。先生は、公益法人日本バレーボール協会の公認講師、日本小学生バレーボール連盟の理事長として活躍されており、北海道歌志内市の生まれです。

今日は、バレーボールを通して健全な子供教育についてお話を頂きたいと思います。札幌にある全校生徒22人の小学校にバレーボールチームを作り全国第3位になるまで育て上げた、又、学校教員時代に各学校でバレーボールチームを作り、それらのチームが全国大会にまで出るというマジック的な指導力をお持ちの先生ですが、今日はその指導方法を通じ、子供達とどの様に係わっていけば良いのかというお話を聞きたいと思います。

「バレーボールを通しての健全な子供教育について」



日本小学生バレーボール連盟理事長 工藤 憲 様

昨年の3.11 東日本大震災以来、国内では「絆」ということが凄く多く叫ばれています。絆という字は「糸(いと)」に「半(はんぶん)」と書きますが、これは1本の糸を自分だけで持つのではなく、誰かに全て任せてしまうでもなく、半々に持つことによって「絆」が出来ていくという意味合いのことです。これは正に、皆さんが活動しているRCに通じるものがあるのではないかと思います。

私は4年前まで公立学校の教員をしており、子供たちを通して色々なことを学ばせて貰いました。根室に赴任していた時、毎日子供の為だけを考えていたつもりでしたが、あることをきっかけに、自分が子供のことを何にも分かっていなかったのに気付きました。自分は教える立場、子供はそのずっと下の教えられる立場という目線で子供を見ていたために子供の本質が分からなかったということを痛烈に思い知らされました。その時から、自分は子供の為ではなく、子供と共に生きていくことが大事だと思うようになりました。「よく理解する」という言葉があり英語で言うと「under stand」といいますが、「under」は下、「stand」は置く、つまり自分が高い所には絶対に理解できない、その対象となる人の下に自分を置いてこそ初めて理解できるということも子供から教えて貰いました。(～中略～)

今、私はほぼ毎週バレーボールの活動、また、PTAの講演会や不登校の解決のためになどで色々な所をまわっております。そんななか、私の一番の悩みは「指導者の育成」ということです。昔のスポーツなどの指導者は技術を教えていれば良く「俺について来い」というのが多かったのですが、今それをやっても誰もついてきません。そういう時代になりました。私がいま指導者の方々に伝えているのは、指導スキルではなく、マネジメント・スキル、マネジメントをどうする

かということを一生涯懸命やっています。スポーツ界のマネジメントで弱いと言われているひとつはコミュニケーション・スキルです。コミュニケーション・スキルは大きく分けると二つあり、一つはバーバルコミュニケーションという「言葉」のコミュニケーション、もう一つはノンバーバルコミュニケーションという「言葉以外」のコミュニケーションです。人間はどちらが多いかというと、80～90%がノンバーバルです。服装や表情、仕草なども全てがノンバーバルになります。故に、態度が大切であり、口先で言ってもあまり効果はありません。ところが、スポーツ指導者はどうしても口で言ってしまう傾向があるので、ここを何とかしたいと思っています。また、リスクマネジメントについても、今スポーツ界では凄く言われています。(～ハインリッヒの法則の説明～)活動の注意点としては、後ろめたさのない活動(奉仕)心掛けています。後から後悔はしても、その時その時に一生懸命だったという後ろめたさが無い、それが奉仕の原点ではないかと思っています。また、仲間と分かり合い、分かち合い、理想を求めていくことが大事だと思います。

皆さんの理想「Peace through Service」、この理想を求めていくことが凄く大事なことでないでしょうか。



ニコニコBOX

柳 清二会員

8月、一つのセレモニーが無事終了して。皆様に感謝して。

和作 康市会員

8月28日交通安全祈願像が建立されて25年目、その前にて100名近くの人達と交通安全の旗を掲げる事が出来て。

山根 英治会員

多くのメンバーの協力をいただき、無事に秋祭りを終えて心より感謝致します。

戎谷 侑男会員

担当例会無事終えて。そらぶちキッズキャンプへの協賛事業も贈呈出来て。

会長/柳 清二
幹事/川原 弘嗣
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL (0125)22-3344
FAX (0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。